

2022年5月12日
株式会社アドヴィックス

TOYOTA「bZ4X」にアドヴィックスの回生協調ブレーキシステム等が採用
～幅広い製品ラインアップで、電動化に貢献～



株式会社アドヴィックス（本社：愛知県刈谷市、社長：大竹哲也、以下、アドヴィックス）のブレーキ製品が、本日5月12日にリース販売が開始された「bZ4X」に採用されました。

「bZ4X」はTOYOTA bZシリーズ第一弾となるSUV型BEVです。トヨタ自動車は、このbZ4XからフルラインアップでBEVの展開を推進していきます。航続距離や安全面などBEVならではの要件を盛り込みながら、一台のクルマとして魅力のある走り、乗員全員が楽しい時間や空間の共有などを追求した新車両です。

今回採用された製品は、新規開発した回生協調ブレーキシステム、キャリパー一体式電動パーキングブレーキ、前輪キャリパおよび前後輪ロータで、最適なブレーキシステムを提供します。

アドヴィックスは、電動化や自動運転に対応する製品ラインアップの拡充とソフトウェアで様々な価値を提案し、新たなモビリティ社会の実現に貢献してまいります。

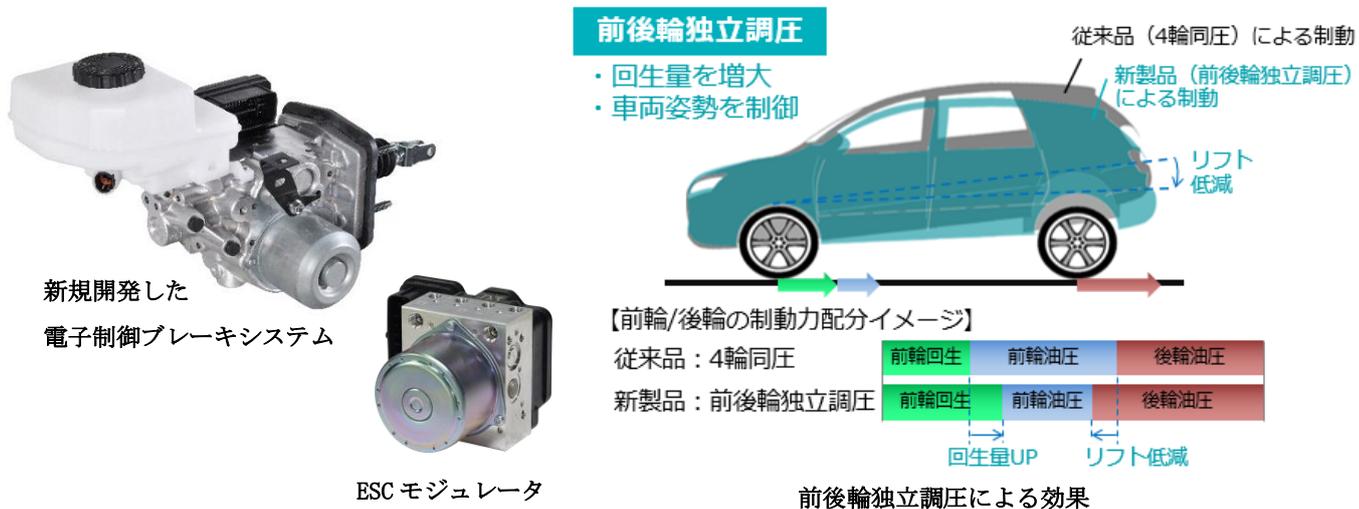
今回採用された主な製品

■回生協調ブレーキシステム

回生協調ブレーキシステムは、電気自動車やハイブリッド車等に搭載され、油圧ブレーキと回生ブレーキのバランスを制御することで電費を向上させます。小型車から大型車向けまで幅広いラインアップを有するアドヴィックスは、世界トップの累計約2000万個の生産実績を持ち、電動車の普及に貢献しています。

今回採用された回生協調ブレーキシステムは、新規開発した電子制御ブレーキシステムと、ESCモジュレータで構成しています。この電子制御ブレーキシステムは、パワーサプライをギャポンプとブラシレスモータにすることでオンデマンド化した点が特長です。前後輪のブレーキ圧を独立して制御するこ

とでエネルギー回生量を増大させるとともに、車両の姿勢制御にも貢献し、乗り心地や安心感を向上させます。さらに、ESC モジュールと組み合わせることで、故障時のフェールオペレーション性能を向上させ、将来の自動運転（Lv.3 以上）にも対応できます。



■キャリパー体式電動パーキングブレーキ

電動パーキングブレーキは、シフトレバーやアクセル操作に連動し、自動でパーキングブレーキを作動させることができます。自動運転の実現につながるレーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）や自動駐車に不可欠な製品で、CASE の進展に伴い需要が急増しています。

アドヴィックスは 2006 年に電動パーキングブレーキの生産を開始し、2014 年には世界初のドラム一体式電動パーキングブレーキを開発するなど、ラインアップの拡充を進めており、軽自動車から大型 SUV まで幅広い領域をカバーしています。



キャリパー体式電動パーキングブレーキ

以上

問い合わせ先	株式会社アドヴィックス 経営企画部 TEL : 0566-56-5938
--------	---